

就職氷河期「リスタート」

いわゆる就職氷河期世代は「自己責任」の名の下に、学校を卒業しようとしたときにどれだけ望んでも、どれだけ靴の底をすり減らして活動しても、思うように職に就けなかった世代である。そして、そこに政治は光を当てることをしなかった。

現役世代の急速な人口減少という局面は厳然と存在し、2040年頃の社会を展望するならば、就職氷河期世代が高齢者世代へ移行する局面への対応は必須であり、学校を卒業しようとしたときの社会経済状況に翻弄され、能力があるのにくすぶり続けている就職氷河期世代への対策は不可欠である。

私たちは2007年から一貫して訴え続けてきた就職氷河期世代対策について、以下、提案する。

国の労働法制の転換により就職氷河期世代に併せて増え続けた非正規雇用労働者。就職氷河期世代が抱える課題は、個人の責任ではなく政治の責任。立憲民主党の政策には、就職氷河期世代の「リスタート」支援に横断的・長期的視点で取り組むよう提言します。

就職氷河期世代の主な課題

- ・収入（他の年齢層との比較で少ない現実）
- ・社会保障（低年金・無年金のおそれや生活保護等の問題、介護問題に直面）
- ・雇用形態（上記とも密接に関係/非正規雇用、フリーランス）
- ・住宅（将来的な単身世帯を含むおひとりさま）

立憲民主党は、

- ◎「就職氷河期世代支援基本法」の制定を目指します。
- ◎「就職氷河期世代支援プログラム」を拡充した上で継続的に取り組みます。
- ◎キーワードは「Money/お金」「Home/家」「Time/時間」
- ◎お金の安心、住まいの安心、老後の安心

1. Money ～安心できる暮らしづくり～

○賃金を上げる

- ・より高い賃金の仕事に就けるよう氷河期世代向け「リカレント教育」と「就労支援」体制を整備します。
- ・「社会保険料」の負担軽減で家計を支えます。
- ・「非正規から正規へ」正規雇用化・無期転換を促進します。
- ・「残業代」の支払を厳格化します。
- ・「フリーランス」で働く人を支援します。
- ・医療、介護、障がい福祉、保育、学童保育等（公定価格）で働く人の賃金を上げます。

○将来の心配事をなくす

- ・「退職金」増税を阻止します。
- ・「年金」を底上げします。

2. Home ～ほっとできる場所づくり～

○「住む場所」を確保

- ・保証人がいなくても住宅賃貸ができるよう「住宅セーフティネット法」の充実を図ります。
- ・「公営住宅」「みなし公営住宅」を整備します。
- ・基礎年金で入れる介護付き住宅を構築します。
- ・新たな家賃補助制度を創設します。

3. Time ～じぶん時間づくり～

○ワーク・ライフ・バランス

- ・ダブルワークをしなくても十分な賃金を得られることで、長時間労働を是正します。
- ・フリーランスやギグワーカー等の皆さんの労働時間や安全衛生などに関するルールを整備します。

○親の介護、自分の介護

- ・「介護離職ゼロ」に向けた取り組みを強化します。また、自分の時間を確保し、介護の金銭的負担を減らします。
- ・介護・障がい福祉などのだれもが必要なサービスを受けることのできる社会を目指します。

○治療と仕事の両立支援

- ・高額療養費制度を守り、治療のための休みを取りやすくします。

○相談

- ・就職を支援するため、公認心理師・臨床心理士等からカウンセリングを受ける場合の費用を支援します。
- ・就職氷河期世代支援に関するサイトを立ち上げ、情報をわかりやすくみられるようにします。
- ・LINEなどのSNSやチャットなどオンラインで気軽に相談できるようにします。